

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

宮城県

（地域における現状・課題）

県内の教員に関する働き方改革は重要な課題であり、部活動は大きな要因である。県立中学校は広域から生徒が通っており、地域との連携、協働は市町村立中学校と比べると希薄である。そのため、地域部活動を実践するために必要なノウハウを持つリーフラス株式会社と連携し、近隣の企業や大学等から人材を確保することで、持続的な休日の地域部活動へ移行したいと考えている。県教委が所管する県立中学校を拠点校とし本事業に取り組むことで、県内各地域の休日の地域部活動移行に拍車をかけていきたい。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社

活動場所：宮城県古川黎明中学校

指導者：地域指導者、顧問教諭（兼業兼職）

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：リーフラス株式会社

活動種目：野球、サッカー、バスケットボール、バドミントン、陸上

会費等：0円

保険：153,285円/年（傷害・賠償責任保険）

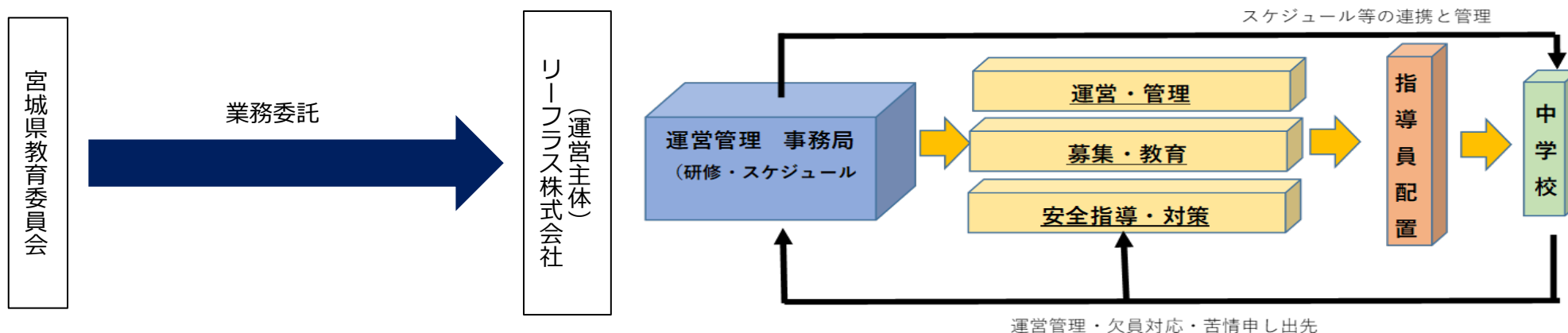
※保険料は運営主体による一括契約

（実践研究の成果）

指導者が生徒目線に立ち、生徒の意見や要望も取り入れながらの活動を進めたことで、90%前後の生徒が地域部活動に対して高い満足度を示している。また、保護者についても、80%以上の保護者が、子どもが意欲的に地域部活動に参加していると感じており、本事業において一定以上の満足度を示す結果となっている。

対象部活の顧問教諭については、4名中3名が「負担軽減につながった」と回答しているが、練習試合や大会等で顧問教諭の引率が多くなっている部活動もあるため、学校から切り離された地域部活動としての在り方をより具体的に検討していく必要がある。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

宮城県白石市

（地域における現状・課題）

県内の教員に関する働き方改革は重要な課題であり、部活動は大きな要因である。課題として、競技経験のない部活動を担当することによる業務負担、休日の部活動に係る業務時間の負担、そして学校の部活動顧問と地域部活動の指導者との連携体制の構築が挙げられる。他県において実績のあるリーフラス株式会社と本事業に取り組み、安心・安全な部活動の地域移行につなげていきたい。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社

活動場所：白石市立東中学校

指導者：地域指導者、顧問教諭（兼業兼職）

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：リーフラス株式会社

活動種目：剣道、バレーボール、サッカー、陸上、卓球

会費等：0円

保険：114,185円/年（傷害・賠償責任保険）

※保険料は運営主体による一括契約

（実践研究の成果）

専門的な知識と経験を有する指導者による練習により、生徒自身が技術力やチーム力の向上を感じており、80%以上の生徒が地域部活動に対して高い満足度を示している。また、70%以上の保護者が、地域部活動における指導についての満足度を示しており、学校の部活動では足りないところを補いながら、生徒にとっての質の高い部活動の展開につなげることができたと捉えている。一方、部活動としての方針や生徒とのコミュニケーションにズレが生じることでの課題感も生まれたので、顧問教諭との連携を密に図れる体制作りを通じた改善につなげる必要がある。なお、教員の負担軽減という側面については、対象となった顧問教諭4名全員が「大幅な負担軽減につながった」と感じており、教材研究やプライベートの充実等、本事業の一つの目的でもある、教員の負担軽減につながる内容となった。

（運営体制図）

